

1 外部向け研修会・講習会・公開講座等の実施状況

(1)	「明日からできる脊髄損傷」研修会		
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	医師、理学療法士、作業療法士、看護師など
目的	脊髄損傷のリハビリテーションの関わりにあたり、臨床で直ぐにでも活かせる研修をシリーズ化して実施する。	日時	①R3.5.7(金) 18:30～19:30 ②R3.7.9(金) 18:30～19:30 ③R3.8.6(金) 18:30～19:30 ④R3.10.8(金) 18:30～19:30 ⑤R3.11.2(火) 18:30～19:30 ⑥R3.12.3(金) 18:30～19:30 ⑦R4.2.4(金) 18:30～19:30
		場所	オンライン開催
		参加人数	①144名、②95名、③77名、 ④218名、⑤59名、⑥147名、⑦157名
<p>①明日からできる脊髄損傷の評価(リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司、作業療法士 神保和正)</p> <p>②明日からできる脊髄損傷の評価(リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司、作業療法士 神保和正)</p> <p>③明日からできる頸髄損傷の理学療法(リハビリテーション治療部 上席理学療法士 鈴木謙太郎、理学療法士 西澤ひとみ)</p> <p>④明日からできる頸髄損傷の作業療法(リハビリテーション治療部 作業療法士 岡駿之介、作業療法士 村上菜穂)</p> <p>⑤明日からできる脊髄損傷の理学療法(リハビリテーション治療部 上席理学療法士 鈴木謙太郎、理学療法士 西澤ひとみ)</p> <p>⑥明日からできる脊髄損傷の評価(リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司、作業療法士 神保和正)</p> <p>⑦明日からできる脊髄損傷の排泄管理・退院支援(看護部 副看護師長 小西奈津子、総合相談部 入退院支援室長 阿部里子)</p>			

(2)	第3回せき損リハ・ケア研修会		
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	医師、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなど
目的	千葉県内の脊髄損傷患者に対するリハビリテーションを発展させるため、当センターの脊髄損傷者に対するリハビリテーション支援の取り組みを紹介する。	日時	R3.6.19(土) 13:00～15:25
		場所	オンライン開催
		参加人数	87名
<p>テーマ：胸髄損傷者に対するリハビリテーション</p> <p>講義①「脊髄損傷の病態とリハビリテーション」(診療部 センター長 菊地尚久)</p> <p>講義②「入院中のアセスメントと看護のポイント」(看護部 主席看護師 菅野宏子)</p> <p>講義③「胸髄損傷者の基本動作練習」(リハビリテーション治療部 理学療法士 藤平智也)</p> <p>講義④「胸髄損傷者の生活支援」(リハビリテーション治療部 作業療法士 吉村友宏)</p> <p>講義⑤「社会参加支援と社会資源」(総合相談部 入退院支援室長 阿部里子)</p> <p>講義⑥「千葉県脊髄損傷データベースに関して」(リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司)</p> <p>全体質疑応答(診療部 センター長 菊地尚久)</p> <p>グループ交流会「気楽に話そう！職種別情報交換会」</p>			

(3)	2021 当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	千葉県内の高次脳機能障害当事者および家族
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要項」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域支援機関に向けた研修会を開催し、普及・啓発活動を行う事を目的とする。	日時	第1回：R3.7.21(水) 14:00～15:15 第2回：R4.1.19(水) 14:00～15:15
		場所	オンライン開催
		参加人数	第1回：119名 第2回：99名
<p>第1回：高次脳機能障害の主な症状と基本的な対応～易疲労・注意障害・情報処理力低下・記憶障害～</p> <p>第2回：高次脳機能障害の主な症状と基本的な対応～遂行機能障害・病識の低下・社会的行動障害～ (高次脳機能障害支援部 作業療法士 岡本美希子、心理師 三浦麻由佳)</p>			

(4) 第4回 高次脳機能障害生活版ジョブコーチ支援研修会			
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター] 千葉リハ高次脳機能障害地域生活復帰支援プロジェクト	対象	千葉県内の高次脳機能障害の支援に携わる支援者(相談支援事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、訪問介護事業所等)
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要項」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域支援機関に向けた研修会を開催し、普及・啓発活動を行う事を目的とする。	日時	R3.8.4(水)～10(火)
		場所	オンデマンド開催
		参加人数	341名
1. 概論「高次脳機能障害の特性と対応」(リハビリテーション治療部 主任心理師 遠藤晴美) 2. 「高次脳機能障害の方の地域生活支援～生活版ジョブコーチ支援～」DVD視聴「生活版ジョブコーチ支援の実際」 3. 「高次脳機能障害におけるヘルパー支援の形」(高次脳機能障害支援部 首席理学療法士 揚戸薫)			

(5) 高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 2021 (WEB 講座および一部集合研修)			
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	高次脳機能障害者に対する支援を行っている千葉県内の支援者及び高次脳機能障害に関心がある支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに連続で講座を開催し普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	第1回：R3.8.18(水)～24(火) 第2回：R3.10.21(木)～27(水) 第3回：R3.12.17(金)～23(木) ※集合研修 14:00～16:00 第4回：R4.2.16(水)～22(火)
		場所	第1～4回オンデマンド開催 第3回千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	第1回：304名 第2回：364名 第3回：372名 第4回：377名
第1回：高次脳機能障害概論(診療部 第一脳神経内科部長 赤荻英理) 第2回：各論1「神経疲労(脳疲労)・注意障害」(高次脳機能障害支援部 首席理学療法士 揚戸薫) 第3回：各論2 ①「記憶障害・遂行機能障害」(高次脳機能障害支援部 高次脳機能障害支援部長 長谷川純子) ②「ミニ体験：手順書作成(集合のみ)」(高次脳機能障害支援部 心理師 三浦麻由佳) 第4回：各論3「社会的行動障害・失語症」 ①社会的行動障害(東京福祉大学 教授 先崎章氏) ②失語症(リハビリテーション治療部 主任言語聴覚士 高橋誠貴)			

(6) ちば地域リハ・パートナーを対象としたオンライングループワーク			
担当部署	地域リハ推進部 [千葉県リハビリテーション支援センター(千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業)]	対象	ちば地域リハ・パートナー
目的	圏域を越えた地域リハ・パートナー同士の情報交換、交流を推進すること。各専門職が、困っていることや悩んでいることを他施設の専門職と話せる場づくり。	日時	R3.8.23(月) 18:00～19:30 R3.10.28(木) 18:30～20:00
		場所	オンライン開催
		参加人数	R3.8.23 20名 R3.10.28 25名
R3.8.23 テーマ：「今、どうしていますか？患者・利用者の家屋環境調整」 R3.10.28 テーマ：「患者・利用者を送る側・受ける側のホンネ」			

(7) 出前講座「どうしよう！股・膝の手術」			
担当部署	関節ワーキンググループ	対象	膝の痛みがある地域住民及び家族
目的	<ul style="list-style-type: none"> 膝の痛みでお悩みの方に、変形性膝関節症の正しい知識と痛みに対する適切な対処方法を理解していただき、痛みの軽減と自己管理能力を高める 当センターで実施している人工関節手術等の治療について周知する 	日時	①R3.10.16(土)14:00~16:00 ②R4.3.26(土)14:00~16:00
		場所	城西国際大学 千葉東金キャンパス
		参加人数	①26名 ②30名
<p>①医師から(診療部 第二整形外科部長兼第二リウマチ科部長 常泉吉一)</p> <ul style="list-style-type: none"> 膝の人工関節；膝の手術方法からリハビリテーションまで <p>理学療法士から(リハビリテーション治療部 理学療法士 宮澤拓人、羽坂紀実香)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術に向けたカラダづくり！理学療法士が教える術前術後のリハビリテーション 城西国際大学 PT科教員/学生 筋肉量はどれくらい？力はある？体のいろいろ測定会 <p>②医師から(診療部 第一整形外科部長兼第一リウマチ科部長 付岡正)</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の人工関節の手術とは？ <p>理学療法士から(リハビリテーション治療部 理学療法科長 戸坂友也、理学療法士 藤平智也)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術に向けたカラダ作りと術後リハ 城西国際大学 理学療法科教員/学生 今の身体を知りましょう 			

(8) 令和3年度(香取海匝地区)高次脳機能障害支援研修会			
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	医療機関、福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	<p>国保旭中央病院、障害者就業・生活支援センター東総就業センターとの共催により香取海匝地区の医療機関、福祉機関及び就労支援機関向けに研修会を開催し、当該地区の高次脳機能障害支援に関わる普及・啓発活動を行うことを目的とする。</p>	日時	R3.11.5(金)18:00~19:30
		場所	国保旭中央病院
		参加人数	65名
<p>1. 「記憶障害の概要と生活場面でみられる問題」(高次脳機能障害支援部 高次脳機能障害支援部長 長谷川純子)</p> <p>2. 事例検討「記憶障害者への支援について考えよう」(国保旭中央病院 作業療法士 林真也氏)</p>			

(9) 第17回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会(千葉県受託)			
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	医療機関、福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	<p>「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、医療機関、福祉機関及び就労支援機関向けに懇話会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。</p>	日時	R3.11.5(金)18:00~19:30
		場所	オンライン開催
		参加人数	234名
<p>高次脳機能障害の診断書～生活状況を正しく落とし込むためのアセスメントのポイント</p> <p>1. 「診断書の書き方」(診療部 第一脳神経内科部長 赤荻英理)</p> <p>2. 「制度とその活用について」(総合相談部 上席ソーシャルワーカー 土屋恵)</p>			

(10) 療育支援研修会			
担当部署	総合療育センター	対象	肢体不自由児支援に携わる保育士等
目的	千葉県内の未就学の障害児支援に携わる保育士や支援者に、摂食を中心とした支援の手助けや、また課題解決に向けた研修を行う。	日時	R3.11.20(土)9:00~12:30
		場所	千葉リハビリテーションセンター大ホール
		参加人数	30名
内容 例年は摂食の実技や障害児の遊び等の講義を行ってきたが、今年度はコロナ感染防止に伴い時間短縮、講義のみの研修を行った。 摂食では概要の説明や動画等利用して講義を行った。また遊びに関しては時間の関係上センターで使用している遊び道具の紹介にとどまった。			

(11) こどものリハビリ多職種勉強会			
担当部署	総合療育センター	対象	小児リハに関わる多職種
目的	小児リハビリにおける多職種での学びとお互いの質を高める	日時	R3.9.25(土)13:00~16:00
		場所	オンライン開催
		参加人数	169名
内容 今年度はコロナ感染防止に伴い、WEB形式(ZOOM)での開催。 ○新型コロナウイルス関連シンポジウム 講義:「新型コロナウイルス感染症の子どもたちへの影響」 シンポジウム:「コロナ禍の中で子どもたちにしてきたこと、これからできること」 (訪問看護・児童デイサービス・医療施設の立場から) ○症例検討学習会 症例1:「未就学の肢体不自由児への運動発達をどう支援するか」 症例2:「姿勢や嚥下に課題を認める肢体不自由児への摂食支援」			

(12) 成人期施設職員研修会			
担当部署	総合療育センター	対象	成人期を迎えている脳性まひ等の方が通う県内の障害者利用施設職員
目的	千葉県内の障害者利用施設に携わる看護師、介護福祉士、保育士等に対して各職種による支援の講義や、各事業所での課題解決に向けた研修を行う。	日時	R3.12.4(土)9:00~12:15
		場所	オンライン開催
		参加人数	40人
内容 今年度はコロナ感染防止に伴い、WEB形式(ZOOM)での開催。 1) 加齢による身体面の変化(小児整形外科医師) 2) 多職種でおこなう健康管理について(看護師) 3) 愛育園での成人活動の紹介(生活援助員) 4) 実技デモンストレーションビデオ(PT/PT/ST) ・ベッド上(仰向け・横向き)ポジショニングについて ・摂食介助のポイント ・コミュニケーションの基礎			

(13) 第19回脊髄損傷リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）			
担当部署	地域リハ推進部	対象	当事者、家族、支援者 介護福祉士養成校、看護師養成校、リハ 標榜病院等の職員他
目的	自動車事故により脊髄損傷などの後遺障 害を被った者の早期職場復帰・社会参加 の実現のため、講習会の開催を通じて、 被害者とその家族、支援者等への情報提 供や情報交換の場を提供すること	日時	R3.12.16～12.26
		場所	オンデマンド配信
		参加人数	825 アクセス
テーマ「コロナ禍のお家で！健康に過ごす褥瘡（床ずれ）予防のポイント」 1. 褥瘡の基礎知識と予防のためのポイント（看護部 主任看護師（皮膚・排泄ケア認定看護師）江原三有紀、 地域リハ推進部 主任理学療法士 後藤達也） 2. 皮膚チェックのワンポイント（看護部 主任看護師（皮膚・排泄ケア認定看護師）江原三有紀） 3. 食べることから褥瘡を予防しよう（栄養部 栄養士 飯塚祥太） 4. クッションを調整していますか？～空気式クッションに焦点をあてて～（地域リハ推進部 理学療法士 太田直樹）			

(14) 第18回高次脳機能障害リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）			
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	当事者、家族、行政機関、医療機関、 地域包括支援センター、就労移行・就労 継続機関等の職員
目的	高次脳機能障害リハビリテーション講習 会の開催を通じて、当事者とその家族、 支援者等への支援に役立つ情報提供や、 情報交換の場を提供することを目的とす る。	日時	R4.1.14（金）～27（木）
		場所	オンデマンド配信
		参加人数	320名
地域における高次脳機能障害とは～神奈川県を取り組みを通して～ （神奈川リハビリテーション病院総合相談室・高次脳機能障害支援室 ソーシャルワーカー 瀧澤学氏）			

(15) 第15回千葉県地域リハビリテーションフォーラム（千葉県受託）			
担当部署	地域リハ推進部 [千葉県リハビリテーション支援センタ ー（千葉県地域リハビリテーション支援 体制整備推進事業）]	対象	広域支援センター、ちば地域リハ・パー トナー、その他広域支援センターの関係 機関
目的	千葉県の地域リハビリテーションはどの ようなことを目指していくのかを検討す るための基盤として「地域リハビリテー ション」の捉え方や認識を関係者とグル ープワークを通じて意見交換する機会と する	日時	R4.1.22（土）13：00～15：40
		場所	オンライン開催
		参加人数	51名
テーマ「あなたと考えたい千葉県の地域リハビリテーション」 趣旨説明と導入 意見交換「千葉県の地域リハビリテーションに期待することとは？」 パネルディスカッション「これからの地域リハビリテーションの展開」			

(16)	第4回小児高次脳機能障害支援者向け研修会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター] 千葉リハ高次脳機能障害小児高次脳プロジェクト	対象	医療・福祉・教育・行政関係等の支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、就労支援機関向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R4.2.3(木)～17(木) 13:00～15:30
		場所	オンライン開催
		参加人数	270名
<p>講演1『小児高次脳機能障害概論』 「子どもの高次脳機能障害とは」(診療部 第二小児神経科部長 湧井敦子) 「子どもの高次脳機能障害支援の流れ」(療育支援部 療育支援部長 森戸崇行)</p> <p>講演2『復学支援の実際』 「復学支援における特別支援教育」 (千葉県袖ヶ浦特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 赤木陽子) 「事例を通して考える復学支援」(診療部 第二小児神経科部長 湧井敦子) (リハビリテーション治療部 言語聴覚科長 廣瀬綾奈) (リハビリテーション治療部 心理発達科長 中島友加)</p>			

(17)	第5回高次脳機能障害就労支援研修会および職業リハビリテーション研究発表会(地方開催)		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター] 千葉リハ高次脳機能障害就労移行支援プロジェクト	対象	就労支援に関わる医療機関、就労移行・就労継続機関等の職員
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の就労支援についての正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに研修会を開催し普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R4.2.7(火)～7(月)
		場所	オンデマンド配信
		参加人数	136名
<p>1. 高次脳機能障害概論(高次脳機能障害支援部 高次脳機能障害支援部長 長谷川純子) 2. 高次脳機能障害の職場適応促進を目的とした職場のコミュニケーションの介入～コミュニケーションパートナートレーニング～(障害者職業総合センター 竹内祐氏) 3. 高次脳機能障害の就労支援(更生園支援部 就労支援科長 吉田 大、高次脳機能障害支援部 作業療法士 岡本美希子)</p>			

(18)	第15回 高次脳機能障害と自動車運転勉強会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター] 千葉リハ高次脳機能障害成人リハプロジェクト	対象	高次脳機能障害者の自動車運転再開に関する支援を行っている方及びこれから支援を行おうとしている方
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、運転再開支援者向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R4.3.12(土)13:00～14:30
		場所	オンライン開催
		参加人数	25名
<p>講義①自動車改造と運転支援 a.自動車改造について(富士オート 杉山光一氏) b.症例紹介(更生園支援部 作業療法士 越田智子) ②時期別運転支援のコツ(急性期～回復期～生活期)(リハビリテーション治療部 作業療法士 石田理江子)</p>			

(19)		令和3年度医療的ケア児等を支援する看護師等研修(千葉県受託)	
担当部署	総合相談部	対象	重症児の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等。在宅療養の障害児に関わる、又は関わる予定のある相談支援事業所等の職員等。
目的	重症心身障害児、医療的ケアが必要な小児等が地域で安心して在宅療養ができるように訪問看護等を行う看護師等の在宅の医療的ケア児等を支援する事業所の職員を育成することにより、医療的ケア児等の福祉の向上を図ることを目的とする。	日時	R4.3.13(日) 9:00~16:20 R4.3.19(土) 9:00~16:20
		場所	オンライン開催
		参加人数	R4.3.13 26名 R4.3.19 29名
<p>講義(R4.3.13)</p> <p>「障害児の特徴と疾病」(総合療育センター 愛育園長 石井光子)</p> <p>「障害児の呼吸とケア(看護)」(看護部 首席看護師(慢性呼吸疾患看護認定看護師) 佐々木律子)</p> <p>「療養児の看護とケア健康管理を中心に」「医療的ケア児等への看護における看護倫理、医療安全」(淑徳大学看護栄養学部 地域看護学領域 谷口由紀子氏)</p> <p>「実技演習」(総合療育センター 愛育園長 石井光子)</p> <p>講義(R4.3.19)</p> <p>「医療的ケア児等の在宅生活に必要な支援」(総合相談部 医療福祉連携室長 佐藤郁夫)</p> <p>「医療的ケア児等の療育支援および日中活動支援」(児童発達支援センター 通園科長 北村由布子、主任生活援助員 成合智子)</p> <p>「虐待防止・権利擁護」(福祉局 福祉局長 景山朋子)</p> <p>「重度障害児のリハビリテーション」(リハビリテーション治療部 主任理学療法士 宇津木隆)</p> <p>「在宅の方々のお話」(ご家族 佐藤通子氏、高取れお奈氏)</p> <p>「大規模災害への備え」(福祉局 福祉局長 景山朋子)</p> <p>「多職種グループワーク」(看護局 看護局長 池畑久美子、看護部 副看護部長 栗林欣子、リハビリテーション治療局 リハビリテーション治療局長 伊藤孝子、福祉局 福祉局長 景山朋子、総合相談部 医療福祉連携室長 佐藤郁夫、ソーシャルワーカー 土屋英巳)</p>			

(20)		千葉県地域リハビリテーション調整者養成研修(千葉県受託)	
担当部署	地域リハ推進部 [千葉県リハビリテーション支援センター(千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業)]	対象	市町村介護予防事業担当者、地域リハ広域支援センター、ちば地域リハ・パートナー、地域包括支援センター他
目的	千葉県内の市町村介護予防事業などへのPT・OT・STの協力をよりスムーズにするため、「窓口」をテーマに他県の先進例を開き、さらに千葉県に還元できるように対談でその仕組みを掘り下げる。	日時	R4.3.16~3.27
		場所	オンデマンド配信
		参加人数	参加申込者：156名 Youtube 再生回数：202回
<p>テーマ「リハビリテーション専門職との窓口を考える」</p> <p>(1) 講師による基調講演 (2) 講師と進行役との対談</p> <p>講師 霞ヶ関南病院 岡持利亘氏 兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター 安尾仁志氏</p> <p>進行役 地域支援センター長 地域支援センター長 田中康之</p>			